

# パッケージ番号：1 秋田県内各生活圏間の交流と地域の活性化を支援する道づくり



## 成果目標

各生活圏間や主要観光地等と高速交通拠点間において、安全で快適なルートを確保する。

アウトカム指標の算定方法 (算出時のエリア内の県道改良率) / (H15現在のエリア内の県道改良率) × 100-100

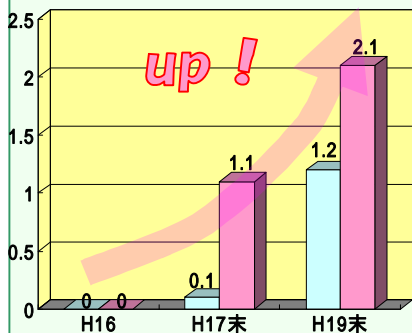
### ●整備目的

集落や主要観光地から高速交通拠点までのアクセスの向上及び、ネットワークの整備により、観光や地域振興の活性化を図ります。

- ・ 現道の拡幅・・・隘路区間の解消
- ・ バイパス化・・・代替路の確保

アウトカム指標	現況値 H16当初	中間目標 H17末	最終目標 H19末
目標値	-	0.1	1.2
実績値	-	1.1	2.1

アウトカム指標の推移



県内の道路には、  
未だこのような状況  
の箇所があります！



### ●整備達成状況

事業が概ね順調に進捗し、他の要素（旧道移管等）も加わり、平成19年度末の最終目標を大幅に上回ることができた。

H19末【目標】 1.2% 【実績】 2.1%

改良済み延長が約1,839kmから約1,881kmへ延びました。約42kmの増加！

**達成!**

### 完成事業の紹介

#### 能代市 坊ヶ崎工区

当路線は、バス路線及び通学路にもかかわらず幅員が狭く、大型車のすれ違いが困難な状況でした。



#### 男鹿市 角間崎工区

当路線は、バス路線にもかかわらず幅員が狭く、急勾配・急カーブが連続する状況でした。



### ◆今後の方針

未だ幅員の狭い箇所や急勾配の箇所は一部存在しており、今後も路線の重要性（ネットワークの構築、交通量等）や現道の状況（幅員、勾配等）に応じて、順次整備を進めていき、安全性・快適性を向上させていく。

現道拡幅やバイパス整備には、多額な予算を投入することとなるため、状況を見極め待避所の設置や1.5車線的な整備も検討していく。

### 待避所設置による安全性の向上



バス路線にもかかわらず、  
車両のすれ違い場所がない。

待避所設置という部分的な整備により、コスト縮減をしつつ、大きな効果を挙げることができます。